

# 中部版

〒464-0074  
名古屋市中千種区仲田2-15-12  
ワークビル3階  
電話・052(735)6556  
FAX・052(735)6557  
名古屋支社

## 地区鋼材流通加工

### 「残業規制」意識過 で市場に歪み

足元の需要にいまひとつ迫り方がない背景に、厳しさを増す「残業規制」に意識が過剰になっていく状況を指摘する声が出てきた。地区業界関係者は、従来から法律順守で経営を行っていたが、人手不足と稼働ピーク時対応などで残業時間の法律上限を意識する状況も生まれやすい。小口短納期の商いが増え、加工業者の淘汰も一部で進む。諸コスト上昇の中で、商品だけでなく加工賃など「諸費用の市場への転嫁」も課題になっている。

大手企業などで残業規制などをチェックしられた場合の対応など規制に対する厳しい状況で、残業の実態をつかぬことが難しくなっている。残業規制に際しては、業界関係者は労働基準法など従来から順守しているが、どこまで残業と判断するかで微妙なケースや、納期を迫っている状況が目立っている。

## LIXILがリフォームフェア

大塚支社長「需要喚起」  
展示会場は「玄関・窓・門まわり」など5つのゾーンを設け、数多くの新製品を並び約200点の製品をラインアップ。生活シーンに合わせた空間展示を用いたほか、商品の魅力を説明する「実演コーナー」が来場者の人気を集めた。一体型シャワートイレなど、数多くの空間展示を用意

## 松厚木営業所、本社に統合

### 植 経営効率化 倉庫増床で在庫能力拡大

静岡地区大手鉄鋼2の集約に伴い、本社倉庫の在庫能力を高める。取扱高のうち約7割が住宅向け。グループ内に営業所を設けていたが、配送の効率化および在庫管理の強化など、一層の経営の効率化を図るため、松厚木以外の営業所を本社「植松営業部」に集約した。厚木営業所の営業強化を目的に、所は神奈川西部地区014年春に新設したが、開設当初と比較して、交通インフラが充実し「神奈川エリアへの配送は、本社からの当日配送でも十分対応できる」という一括管理をする。在車た「植松営業部」に余力を持たせ、倉庫内の安全を確保する。また、同営業所 販売や成形加工を手掛



増床中の本社倉庫

に集約した。厚木営業所の営業強化を目的に、所は神奈川西部地区014年春に新設したが、開設当初と比較して、交通インフラが充実し「神奈川エリアへの配送は、本社からの当日配送でも十分対応できる」という一括管理をする。在車た「植松営業部」に余力を持たせ、倉庫内の安全を確保する。また、同営業所 販売や成形加工を手掛

4月の磨棒鋼・CH鋼線生産 横ばいの3万5000トン 中部協組

社の2017年4月の実績を押し上げた。前年4月の発生を受けて、トヨタ自動車の日当生産台数が1万台程度減少したものの、他比では7%を超える大幅な増加となった。非自動車分野は建設好調だったこと、非自動車向け引き続き自動車分野の復調傾向が意が見られるほか、工

## 高稼働下、安定供給に挑む

### 軽金属押出開発・本社工場

大手軽圧メーカーが社が出資する大型アルミ押出機メーカー、軽金属押出開発(KOK)本社・三重県四日市市、社長・畑中孝一氏は、効果的な設備投資、全社的な改善活動を通じて段階的な製造実力向上を実現。前下期は年度当初目標に掲げた600トンの月間生産体制を大きく上回る、665ト(月平均)を生産した。しかし、鉄道車両用形

## 「手離れ」進め生産へ集中

### 焼鈍サイクル改善に着手

社的な改善活動を通じて段階的な製造実力向上を実現。前下期は年度当初目標に掲げた600トンの月間生産体制を大きく上回る、665ト(月平均)を生産した。しかし、鉄道車両用形



造。残材が自動で満ちる。ヤンク先端に装着したセンサーが検出するため、オペレーターを要する装置を移動させて、現行月に50%の稼働率を確保し、取り回しを改善する。具体的には、炉の冷却機能を強化することによって、現行月に50%の稼働率を確保し、取り回しを改善する。

全特協名古屋 販売技士1級認定式開く  
植支部長「自信持って業務を」  
全日本特殊流通協 席した。名古屋支社(支部長 席上挨拶した植支部長